

製品仕様

品名	ユニットシェルフ用耐震金具
JAN	4550002998875
対象	ステンレスユニットシェルフ スチールユニットシェルフ
材質	金具：スチール（ニッケルメッキ） 緩衝材：シリコーン

Made in Taiwan

ご使用方法

移動について

- 引越しなどで移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。（壁に打ったアンカーは取りはずしできません。）ケガや破損、床面へのキズの原因となります。

廃棄について

- 廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

保守・点検

- 重要なお知らせをよく読み、定期的に点検してください。点検せずに使用すると、強度が弱まりケガや破損のおそれがあります。
- ネジや各部にゆるみがないか定期的に点検し、ゆるみははじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使用すると、ケガや破損のおそれがあります。

金属部のお手入れ

- 通常のお手入れはやわらかい布で乾布きしてください。
- 汚れのひどい時は、3～5％に薄めた中性洗剤を湿した布で汚れを落とし、その後、水で湿した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店、もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

お客様相談室でんわ

0120-14-6404

組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しくお使いください。また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

2024年2月21日

重要なお知らせ（安全上のご注意）

ここに示した警告・注意事項はお使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

警告 死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの

- フィッティングパーツは小さな部品です。幼児の手の届くところには置かないでください。また、紛失しないでください。誤飲した場合、窒息などのおそれがあります。
- 取り付けが不完全なまま使用しないでください。中途半端な取り付けですと、固定部分はずれてケガの原因になることがあります。
- 木製ボックスを取り付ける際は、下記の連結可能数を超えて連結しないでください。また木製ボックス取り付け数量を超えて取り付けしないでください。商品が転倒し、ケガをする原因となります。



禁止

ユニットシェルフ種類	最大可能連結数 [列] ←1列→←1列→←1列→	最大木製ボックス取り付け可能数 [台] (ユニットシェルフ1台あたり) ←1台→
特大	3	2
大	3	2
中	3	2
小	3	1



行う

- 耐震金具は「取り付け最適位置」へお取り付けください。やむを得ず「取り付け最適位置」以外へ取り付けの場合は「取り付け可能範囲内」に取り付けてください。誤った位置へ取り付けた状態では強度が弱まって商品が転倒し、ケガをする原因となります。
- 壁の状態をお確かめの上で、壁の素材に適したネジ類を使用してください。適していないものでは、強度が得られず、転倒して商品の破損や思わぬケガをする原因となります。
- 地震などで強い衝撃が加えられた場合、取り付け部分の壁や本体パーツに損傷を受けた可能性があります。耐震効果を維持するため、損傷や破損箇所を確認し、パーツの交換、取り付け位置の変更を「耐震金具の取り付け位置」内で行ってください。正しく取り付けられていない場合、商品本来の性能が発揮されないため、破損などの被害が発生する原因となります。

警告 死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの（つづき）



行う

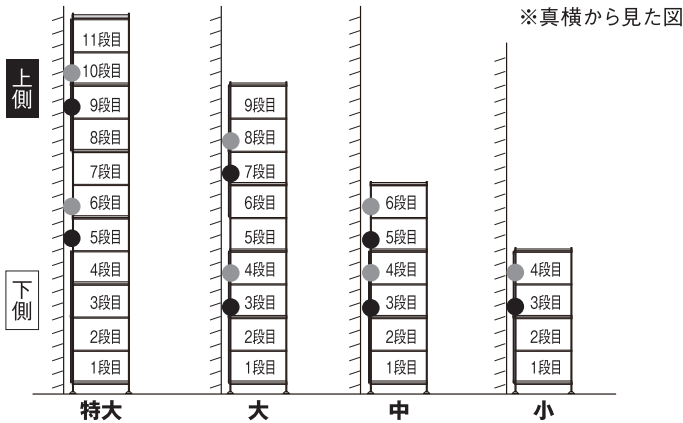
- 商品と壁に固定したネジなどは、確実に取り付けたことを確認し、地震などの激しい揺れや衝撃が加わった後にも必ず点検してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、商品の取り付け位置を変えて、取り付けてください。ゆるんだまま使用すると、強度が弱まって商品が転倒し、ケガをする原因となります。
- 耐震効果を維持するため、緩衝材は半年に一度点検し、ひび割れなどの劣化が認められた場合は「金具の取り付け方法」と逆の手順で④金具を取りはずし①緩衝材を交換してください。ひび割れたまま使用すると、強度が弱まって商品が転倒し、ケガをする原因となります。
- 取り付け方法をよく読み、正しく取り付けてください。誤って取り付けた状態では強度が弱まり、商品が転倒し、ケガをする原因となります。誤った取り付けによって生じた事故や損害については、責任を負えません。

お願い（その他 注意）

- 震度6強の地震波に対し耐震性を確認していますが、地震の状況（震度や波形）、建物の構造、床や壁の材質などにより家具の揺れ方は異なるため、あらゆる地震に対して耐震性を保証するものではありません。また、壁や石膏ボードなどの取り付け状況や家屋の強度を超えた転倒を保証するものではありません。
- 石膏ボードに対して固定するよりも、木下地に木ネジで固定するほうが強度が高くなります。石膏ボード壁に設置の際でも、木下地を探し、木下地に固定できる場所がある場合には、一部分でも木下地に固定することを推奨します。
- 耐震治具を取り付けた場所に木製ボックスやサイドパネルなどを取り付けることはできません。また、木製ボックスはなるべく低い位置に取り付けることで耐震効果を得られやすくなります。
- 地震の強さや床、壁の材質、施工方法によって、本商品の効果が薄れる可能性があります。
- 本商品は、地震による家具の転倒を最小限にすることが本来の目的であり、収納物の破損や落下による事故を防止するものではありません。
- 組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。

耐震金具の取り付け位置

ユニットシェルフ種類	下側取付位置		上側取付位置	
	取り付け最適位置	取り付け可能範囲内	取り付け最適位置	取り付け可能範囲内
特大	5段目	5～6段目	9段目	9～10段目
大	3段目	3～4段目	7段目	7～8段目
中	3段目	3～4段目	5段目	5～6段目
小	3段目	3～4段目	-	-



※真横から見た図

- ※耐震金具が棚板または帆立の横桎に接するよう、●または●位置へ取り付けてください。
- ※耐震金具は上の表とイラストを参考に上側、下側ともに取り付けしてください。（小は下側のみ）
- ※耐震金具は、すべての帆立に対して取り付けてください。（「各部の名称」完成図参照）
- ※シェルフを2連結、3連結した場合も同様です。必ず中間の帆立に対しても取り付けてください。

金具の取り付け方法

※イラストには、「棚セット・ワイド・大」を使用しています。

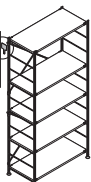
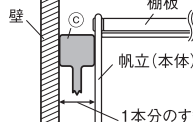
- ※ドライバー・ハンマーは付属されていません。ドライバーは適切なサイズのプラスドライバーをご用意ください。（ドライバーの先端が大きすぎたり、小さすぎると組み立てが難しい場合やネジの破損の可能性があります。）
- まずはじめに、取り付けの事前準備として下記の注意事項をご確認ください。

ユニットシェルフ設置時の注意

- 本体を設置する壁から帆立までの距離は23mm程度を目安にしてください。
- ※下穴用キリ1本分の幅と同程度です。



注意

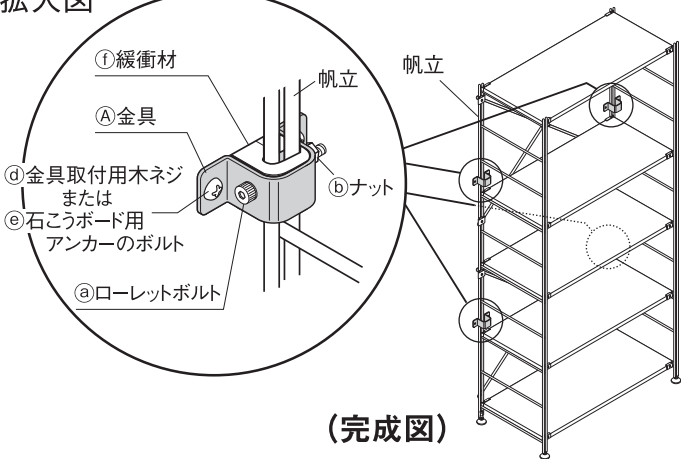


パーツリスト

④金具×2	フィッティングパーツ			
	①ローレットボルト×2	②ナット×2	③下穴用キリ×1	④金具取付用木ネジ×4
	⑤石膏ボード用アンカー×4	⑥緩衝材×2	⑦六角レンチ×1 (3mm)	⑧スパナ×1 ※②ナット用

各部の名称

拡大図



※イラストには、「棚セット・ワイド・大」を使用しています。

金具の取り付け方法(つづき)

壁の材質を確認の上、下記いずれかのパーツで壁に取り付けてください。

※コンクリート壁に取り付ける場合は、最大引抜強度0.55kN以上の市販のコンクリート用アンカーを、別途お買い求めください。
※付属の石こうボード用アンカーは、石こうボードの厚さ12.5 mmまで対応しています。
12.5 mmより厚い石こうボードに取り付ける場合は、別途、厚さに適した最大引抜強度0.55kN以上の石こうボード用アンカーをお買い求めください。

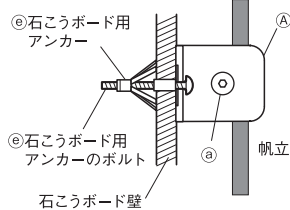
A 石こうボード壁に固定する場合

◎石こうボード用アンカーを使用します。

取り付け手順は **A** を確認ください。

注意

一度壁に打ち込んだ◎石こうボード用アンカーのボルトは、壁から取りはずすことができますが、石こうボード用アンカーは壁から取りはずすことはできません。

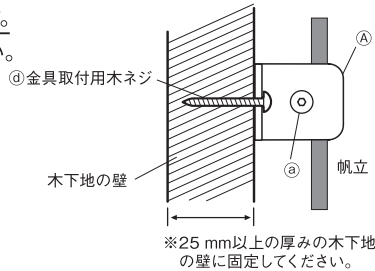


B 木下地や木材の壁に固定する場合

④金具取付用木ネジを使用します。

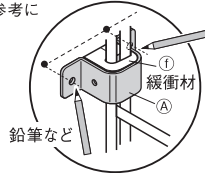
取り付け手順は **B** を確認ください。

A 石こうボード壁に固定する場合よりも強度が高いです。

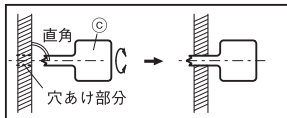


A 石こうボード壁に固定する場合

1 本体を固定位置に仮設置し、「耐震金具の取り付け位置」を参考に
①金具と①緩衝材を帆立の取り付け位置に合わせ、
◎石こうボード用アンカーの取り付け穴の印を付けます。



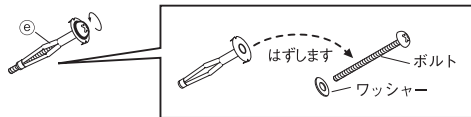
2 本体を移動し、印を付けた部分に◎下穴用キリを使い、
左右に回転させながら貫通するまで下穴を開けます。



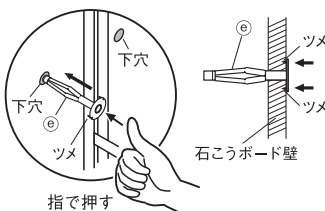
注意

石こうボード壁に対して直角に下穴を開けてください。斜めになると下穴が大きくなり◎石こうボード用アンカーが正しく取り付けできないおそれがあります。

3 ◎石こうボード用アンカーからボルト、ワッシャーをはずします。
※はずしたボルト、ワッシャーは手順**6**で使用します。



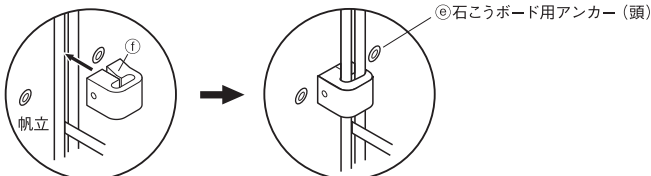
4 ◎石こうボード用アンカーを壁の下穴に差し込み、アンカーのツメを
石こうボードに指でしっかり押し込みます。



注意

●◎石こうボード用アンカーを差し込む際に指で押しても入りにくい場合は、ゴムハンマーなどで軽くたたいて最後まで打ち込んでください。
斜めになると正しく取り付けできないおそれがありますので、斜めにならないようご注意ください。
●打ち込んだ◎石こうボード用アンカーは取りはずせないため、取り付け位置を決める際は、打ち間違い、打ち損じにご注意ください。

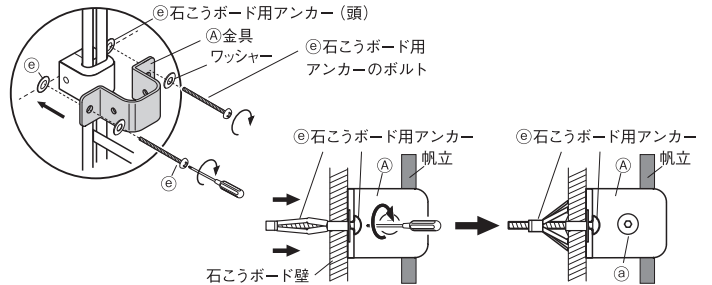
5 本体を固定位置に戻し、①緩衝材の中心を揃え、帆立をはさみ込むように取り付けます。



金具の取り付け方法(つづき)

A 石こうボード壁に固定する場合(つづき)

6 ①緩衝材の位置に合わせて①金具をかぶせ、ワッシャーをはさんで、◎石こうボード用アンカーのボルトを◎石こうボード用アンカー(頭)の穴にねじ込み、お手持ちのドライバーで取り付けます。
◎石こうボード用アンカーのボルトの頭が①金具にすき間なく接して抵抗が大きくなってから、さらに強い抵抗を感じ、①金具と壁にガタつきなくなるまで回転させてください。

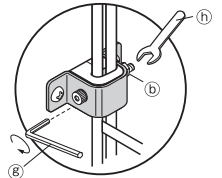


ボルトの頭と金具にすき間がなくなると、抵抗が大きくなりアンカーが変形しはじめます。さらに回し続けてアンカーが十分引き込まれると、強い抵抗を感じて①金具にガタつきなく固定されます。

注意

●ボルトの締め付けを行う前に、◎石こうボード用アンカーのツメを石こうボードにしっかり押し込んでください。ツメがきちんと押しこまれていないと、からまりやすおそれがあります。
●◎石こうボード用アンカーのボルトを回す際、電動工具は使用しないでください。思わぬケガや破損のおそれがあります。
●◎石こうボード用アンカーのボルトを回す際、石こうボード壁方向に力をかけすぎると、アンカーが奥に突き抜けてしまうことがあるので、ご注意ください。
●ボルトを締める際は両方少しずつ締めてください。片方を先にきつく締めてしまうと、もう片方が締めにくくなる場合があります。

7 ⑧ローレットボルトを①金具にゆっくり差し込み、
⑧ローレットボルトを⑧六角レンチで押さえながら、
⑨ナットで軽く締め、その後⑨スパナでしっかり締め付けます。



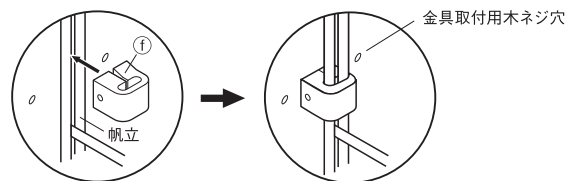
B 木下地や木材の壁に固定する場合

※25 mm以上の厚みの木下地の壁に固定してください。

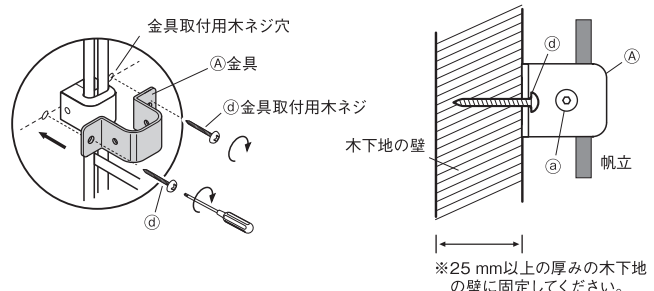
1 「耐震金具の取り付け位置」を参考に①金具を帆立の取り付け位置に合わせ、
④金具取付用木ネジの取り付け穴の印を付けます。
(**A**の手順**1**参照)

※必要に応じて、木ネジを取り付ける前にφ3 mmのドリルビットで金具取付用木ネジ穴を開けてください。

2 本体を固定位置に戻し、①緩衝材の中心を揃え、帆立をはさみ込むように取り付けます。



3 ①緩衝材の位置に合わせて①金具をかぶせ、④金具取付用木ネジを
金具取付用木ネジ穴にねじ込み、お手持ちのドライバーで取り付けます。



4 ⑧ローレットボルトを①金具にゆっくり差し込み、
⑧ローレットボルトを⑧六角レンチで押さえながら
⑨ナットで軽く締め、その後⑨スパナでしっかり締め付けます。

